

# 東京専従日誌

全日本教職員連盟  
事務局次長 原井 和彦



「香川の声を全国に届けます！」  
東京は、少しずつ朝夕の寒さが増し、温かいものが恋しい季節になってきました。讃岐富士もちらほらと紅色に変わりつつある頃ではないでしょうか。

香教連の会員の方から「今は、東京でどんなことをしよん？」と、よく質問されるので私共、全日教連の仕事の一部を紹介します。

まず、国の動きとしては、八月末に各省の概算要求(予算の原案)が財務省に出されます。それを受けて財務省と各省で説明・調整を行い、十一月中旬頃に財務省から原案が各省に示されます。その後、一月から三月に国会で審議され予算案が成立する流れになります。

そこで、私たち香教連が加盟している全日教連では、教育行政に関わる省庁や国会議員に対して、予算確保が行われるように要望活動を行っています。具体的には、特に要望している内容として多忙化解消に資するスクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置について、予算確保ができるようにすることや、教員の勤務の実態に見合った適切な教職調整額の見直し等の要望を行ってきました。

国会議員の方々は、要望に対して真摯に耳を傾けてくださり、「先生方の残業時間の問題は、残業時間を減らせるように進めないといけないな。」という意見をいただきました。

前述した「どんなことしょん？」の答えとしては、教育諸課題について香教連の多忙化解消の実現という声を国へお届けすることだと考えています。

そのためにも現場で日頃感じておられる生の声をお寄せいただくと大変ありがたいです。よろしくお願いたします。



# 先生のための マネープランコラム

\*ファイナンシャルプランナーからのお便り\*  
「いつのまにか後進国?⑪」

今回は「ドルコスト平均法」について、お伝えしました。長期にコツコツ買うことで、平均の購入単価を抑えることができま



例えば、日本株式(平均値で考えます)を一年だけ持っていた場合の収益のばらつきを考えます。一九五二年から二〇一五年の間で、最も損した年はマイナス約四〇%でした。リーマンショックのあった二〇〇八年です。そして最も調子が良かった年はプラス約二〇%です。一〇〇万円投資したとすると、一年後に約六〇万円(二二〇万円)になりました、ということになります。この幅のことをリスクと言います。

それでは、同じ日本株式を一九五二年から二〇一五年の間でどこか一年で持っていたとして、どうなっていたでしょうか?最もダメな一年がマイナス約二〇%で、最もよかった一〇年がプラス四〇%です。二〇年だと、約マイナス五%、プラス二〇%です。

長期に持てば持つほど、収益のばらつき(リスク)は収れんされていきます。言い換えれば、リスクは軽減されるのです。長期に積立投資をすることは、平均の購入単価を下げる効果もありますし、リスクを軽減される効果もあるのです。

F.P.ラボ代表 伊藤祐一



香川県教職員連盟 Facebook開設中!



- 二日 公益財団法人日本教育公務員弘済会香川支部 第一次論文審査会(香川県教育会館)
- 九日 香川県人事委員会報告説明会(人事委員会)
- 十日 坂出評議員会(勤労福祉センター)
- 十四日 全日教連専門部長・副部長会議 (東京・都市センターホテル)
- 十五日 全日教連中央要請行動(文部科学省・財務省)
- 十九日 第四回会長・事務局長会
- 第一回人事対策委員会
- 第二回執行委員会(香川県教育会館)
- 二十三日 公益財団法人日本教育公務員弘済会香川支部 令和元年度教育振興・福祉事業推進委員会 (香川県教育会館)
- 公益財団法人日本教育公務員弘済会香川支部 第二次論文審査会(香川県教育会館)
- 二十六日 「かがわ教育の日」のつどい(ミュージズホール) 高松・小豆・直島との交流会・小中懇親会 (高松市)
- 第五回中堅教員研修会(香川県教育会館)
- 二十八日 香川県知事要望(県庁本館知事応接室)
- 香川県議会要望(香川県議会議事堂議長応接室)